

報道関係各位

2007年2月13日

博報堂

TBWA\HAKUHODO

「株式会社TBWA\HAKUHODO」新オフィスで営業開始

博報堂の子会社「株式会社TBWA\HAKUHODO(以下、TBWA 博報堂)」が、2月13日より新オフィスに移転し、業務を開始しましたのでお知らせいたします。

TBWA 博報堂は、博報堂と米国の広告会社TBWA\ Worldwide(TBWAワールドワイド、米国・ニューヨーク市)が、2006年8月1日に共同で設立した総合広告事業会社です。同社では、これまで二箇所のオフィスに分かれて業務を行っておりましたが、この度統合し社員が物理的にも一丸となることで合弁の相乗効果を増し、クライアントへの質の高いソリューションと目に見える大きな変化の提供を更に充実させてまいります。

- ・新住所 : 〒105-0023 東京都港区芝浦1-13-10 第三東運ビル
- ・電話番号 : 03-5446-7200 (代表)
- ・FAX番号 : 03-5446-7106 (代表)
- ・URL : [www.tbwahakuhodo.co.jp](http://www.tbwahakuhodo.co.jp)
- ・新オフィスでの営業開始日 : 2007年2月13日 (火)

交通アクセス

JR田町駅東口より 徒歩7分

都営三田線、浅草線 「三田駅」A6出口より 徒歩7分

ゆりかもめ「日の出駅」下車 徒歩15分

「芝浦ふ頭」下車 徒歩15分



<本件に関するお問い合わせ>

博報堂について	博報堂 広報室 (宮川、平澤)	03-5446-6161
TBWA 博報堂について	TBWA 博報堂 広報担当(浅野)	03-5446-7386

<添付資料>

## 新オフィスのコンセプト

### <オフィスビジュアル>



【CEO ROOM】



【6階からのオフィススペース景観】

### <オフィスコンセプト>

新オフィスを準備するにあたり、私たちはオフィスのあるべき姿を導き出すために、TBWA が持つディスラプション(破壊)というメソッドを活用しました。これはコンベンション(既成概念)を破壊し、新しいビジョンを見つける手法です。このメソッドを通じて私たちは7つのコンベンションを発見し、そのすべてをディスラプションしました。その結果見えてきたのは「融合が触発を生む、クリエイティブのつぼと呼べるコミュニン」としてのオフィスというビジョンでした。

#### 「Disruption その1」

コンベンション: オフィスは、遊び場とは切り離されたオフィス街にあり、スーツを着た人々だけがいるもの。

ディスラプション: オフィス街から離れた、アミューズメントビルというロケーション。

私たちのオフィスは汐留でも、丸の内でもなく、いわゆる日本的なオフィス街にはありません。ボウリング場やピリヤード・カラオケのあるアミューズメントビルに私たちのオフィスはあります。

#### 「Disruption その2」

コンベンション: オフィスとは高層ビルに入り、職種や部署ごとにフロアや壁によって細かく分けられているもの。

ディスラプション: 壁や柱のない巨大なひとつの空間にオフィスをつくる。

元々、ボウリング場として設計されたダイナミックな空間(総面積: 1, 220坪・天井までの高さは最高部で5.7m)は壁どころか柱すら存在しません。役員室や会議室もガラス張りで、すべての人が見渡せて何が起きているかがバイブレーションとして伝わってきます。

#### 「Disruption その3」

コンベンション: 会社は同じような人が同じような空間に整然と並んでいるもの。

ディスラプション: 個性のある人々が集まるのにふさわしい“街”のようなオフィス

さまざまな文化をバックグラウンドに持つ人や異なる職種の人々がひとつのコミュニティをつくり、次々と新しいものを生み出して行くためには、オフィスは“街”になるべき。街には小さな丘や谷があり、道があみだくじのようにランダムに設けられています。

#### 「Disruption その4」

コンベンション: 同じ会社なのに全然会わない人がいる。話すのは同じ人ばかり。



**ディスラプション: 自然な出会いと会話が促されるスペースがあり、そこからアイデアが広がる。**

すぐれたイノベーションを育むには、人と人の出会いや親密な関係が非常に重要です。街には必ず人が集う広場や公園が点在するように、このオフィスには自然な出会いと会話が促されるようなスペースがあちらこちらに用意され、自由なアイデアが生まれる可能性に満ちています。

#### 「Disruption その5」

コンベンション: オフィスは無機質な空間。



**ディスラプション: 刺激と癒しが共存するオフィス**

知的な刺激を生むためのアイデアがオフィスのいたるところにあふれています。来訪者はオフィスを訪れた瞬間にここがクリエイティブな会社であると感じ取るでしょう。とはいえ1日の長い時間を過ごすオフィスには刺激だけでなく癒される空間も必要です。中央には本物の木が植えられ、あたかも NY のセントラルパークのような癒しの場があります。

#### 「Disruption その6」

コンベンション: デスクか会議室以外に居場所がない。気分を切り替えることができない。



**ディスラプション: 気分に応じて好きな場所で働ける、パーソナルスペースとパブリックスペースを用意する。**

ひとりになって仕事をしたい時は、パソコンさえ持って行けば、大きな階段の最上段でも、人目を避け窓際のソファでも働けます。まるで丘や谷のように、フロア内に勾配があり、傾斜を下ることで気分を切り替えることができます。天井高があればこそ実現したダイナミックなランドスケープがそこには広がっています。

#### 「Disruption その7」

コンベンション: オフィスは実用的であればいい。収益に直結しない投資は無駄である。



**ディスラプション: オフィス変革は収益を生む！**

オフィス環境は会社そのもの。広告会社は人が資産であり、いかにクリエイティブなアイデアを生み出すかが問われています。そのために、創造的なワークスタイルを支える環境、才能ある人を維持し、獲得するための空間作りに私たちは投資しました。